

保護者向け

児童発達支援評価表

児童数 10名 回収数 9枚 公表日 令和8年4月28日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9				ぐるーあっぷから 利用者(子どもさん)一人当たりの㎡数の条件は適切に満たしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8			1	ぐるーあっぷから 職員の配置数は適切に満たしています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9				ぐるーあっぷから 現在の利用者(子どもさん)を鑑みて、バリアフリー化しボード、絵カードでの視覚化、聴覚に配慮した情報伝達に努めています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9				ぐるーあっぷから 部屋は清潔を保ち、チャレンジ(学習、療育課題)に取り組む部屋、楽しく活動する部屋、おやつ、食事をする部屋、ゆっくりしたいときに休む部屋を分けて構造化しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9				ぐるーあっぷから 管理者、保育士を基点に保護者、関係機関からの情報、利用者(子どもさん)のご様子を見て特性に応じて専門性のある支援に努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			1	ぐるーあっぷから 公表した支援プログラムに沿った支援に努めています。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	9				ぐるーあっぷから 管理者、保育士を基点に保護者、関係機関からの情報、利用者(子どもさん)のご様子を見ながら、利用者(子どもさん)と保護者様のニーズを客観的に判断して支援計画の作成に努めています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9				ぐるーあっぷから 利用者(子どもさん)の「本人支援」を中心にガイドラインに沿った支援内容の設定に努めています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8			1	ぐるーあっぷから 支援計画に沿った支援に努めています。
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			1	ぐるーあっぷから 利用者(子どもさん)のやる気や注意が移り変わりやすかったり、その日の様子でも変わってきます。利用者(子どもさん)のご様子に合わせてながら、活動プログラムを柔軟に変更して工夫しています。日々、保育士が教材づくり、教材の選択、プログラムの立案に奮闘しています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	8			1	ぐるーあっぷから 昨年令和6年の8月から 児童発達支援事業を開設しました。これから保育所をはじめとして交流していきたいと思っています。令和8年には、広川町の事業所で合同運動会を行うことが決まり、交流を楽しみにしています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9				ぐるーあっぷから ご利用の方々には、他事業所の併用の方もいらっしゃるやあって、重複部分は確認の上割愛することもあります。事業所利用が初めての方、ご希望の方には丁寧にご説明しています。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9				ぐるーあっぷから 支援計画は立案した計画を示しながら支援内容のご説明をしています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1		1	ぐるーあっぷから 家族支援プログラムにおいて、関係機関や、ぐるーあっぷで得た情報は積極的に保護者の皆様にお知らせしていきます。令和6年に家族支援プログラムのご案内ができることを嬉しく思います。大阪、関東で子ども種支援センター等と連携して親子関係形成支援事業として子育てプログラムを実施し、好評という報告を聞いています。いよいよ、福岡南エリアでも、開催の運びとなりました。子育ては大変ですが、その中で楽しい子育てを提案します。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9				ぐるーあっぷから 総合的にはモニタリング時、日頃は送迎時、連絡帳、ラインにて保護者と連絡を取り合っており利用者(子どもさん)の健康や発達状況について丁寧な説明をするよう心がけています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9				ぐるーあっぷから 個別支援計画書を起点に定期的な面談をしたいと思っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8			1	ぐるーあっぷから 保護者の皆様にご理解を得られる支援に努めています。管理者から見て、職員が利用者（子どもさん）、保護者様に寄り添って支援していると感じています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2		3	ぐるーあっぷから 保護者会はまだ開催できていません。今後計画してご家族のご兄弟同士の交流なども検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			1	ぐるーあっぷから 日頃利用者（子どもさん）の状況を把握しています。相談や申し入れについては管理者と保育士で迅速に対応できるようにしています。今後そのような体制でいることを保護者にお伝えして相談のしやすい環境にしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8				ぐるーあっぷから 利用者（子どもさん）、保護者がお話しをしやすい雰囲気づくりを大切にしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1		1	ぐるーあっぷから HIROキッズの広報「ひろば」にぐるーあっぷの活動を掲載しています。令和7年6月号からA4用紙1ページに拡大してお知らせしています。自己評価は今回が二回目となります。ホームページに掲載いたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8			1	ぐるーあっぷから 個人情報の取扱いには十分に留意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			1	ぐるーあっぷから マニュアルを作成しています。保護者への周知がまだ不十分のため、今後、マニュアルを見ていただく機会を設けていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		3	ぐるーあっぷから 火災避難訓練を年に2回行っています。非常災害訓練なども合わせて行い、必要となった訓練、研修を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			1	ぐるーあっぷから 安全計画を作成しています。保護者の皆様への周知が不十分な面があり、改めて お知らせしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			1	ぐるーあっぷから 利用者（子どもさん）のケガ、体調不良などには細心の注意を払っています。様子の変化など、速やかにお知らせするように努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8			1	・お一人◎ ご意見 下の28と同じく、安心感につながるにはもう少しかかりそうです。ぐるーあっぷから ◎をありがとうございます。これからも安心して通所していただける場所であるようにしていきます。安心して通所できることが第一なので、少しでも子どもさんが来て大丈夫、と言うことをつかんでもらえるように見守ります。 ・自己評価表にお手紙をつけて下さったお母さんの文 いつも大変お世話になっております。この度は日頃から子どもに寄り添った温かい支援をしていただき、心より感謝申し上げます。○○は、気持ちの切り替えが難しく、思うようにいかないと涙が出てしまうことがあります。職員の皆様が気持ちを受け止め、安心できる声かけや関わりをしてくださっているおかげで、少しずつ理解し落ち着いて行動できる場面が増えてきました。家庭だけでは、なかなか難しい関わりを専門的な視点と温かい心で支えていただいていることに、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。これからも不安定になることがあるかと思いますが引き続きご支援をいただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8			1	・お一人◎ ご意見 毎回とても楽しみに通所しています！ぐるーあっぷから ありがとうございます。これからも楽しく通所できる場所であるように努めていきます。ご意見 場所（ぐるーあっぷ）に慣れておらず、苦手な事をしていく事に対して嫌な気持ちが大きくあります。少しずつ楽しみを見つけて行ってくれると嬉しく思います。ぐるーあっぷから 小集団と一緒に座っていたり、ルールを守ったりするのが難しい事があります。嫌な気持ちも出てくることもあるかもしれませんが、少しずつ慣れていけるように見守ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				・お一人◎ ぐるーあっぷから ありがとうございます。これからも保護者のご期待に沿うよう、支援に努めていきます。

-
- ※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。
 - ※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。
 - ※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。
 - ※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
 - ※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。